

65.9%の企業が「環境への配慮はメリットあり」。

いわての産業
データマップ



「環境」に関して配慮・重視している事項 複数回答、回答企業数600



企業において環境に関して配慮・重視している事項についてみたのが上記です。「産業廃棄物・ごみ処理」が85.8%と全項目中最も高く、以下、「リサイクルの促進」48.5%、「省エネルギー」46.0%、「水質汚染対策」22.3%、「大気汚染対策」11.5%となっており、これを前年比でみると、「リサイクルの促進」3.1ポイント増加、「産業廃棄物・ごみ処理」3.2ポイント増加、「省エネルギー」4.9ポイント増加となっている。

増加するISO14000認証取得企業

現在、環境への対応は企業にとって重要な課題の一つとなっていて、県内企業においてもISO14000の認証取得など、積極的な取り組みが進んでいます。岩手県内におけるISO14000の適合事業者件数は、平成14年3月20日現在、87件と前年のほぼ同時期の53件から34件増加しています。(出典 財団法人日本適合性認定協会)

このような状況を踏まえ、当センターでは県内製造業系(鉱

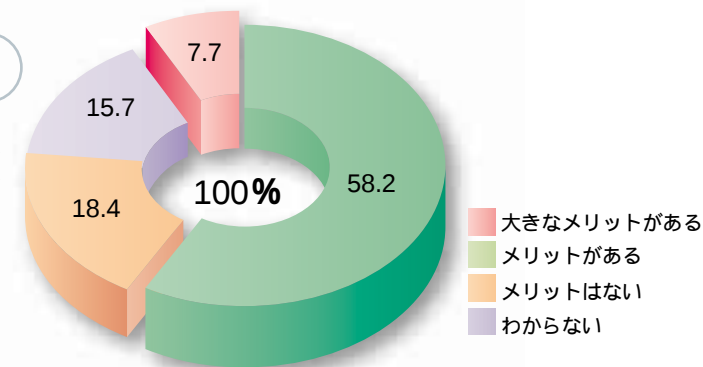
業、建設業、製造業)企業における環境に関する実態と意識を明らかにし、県内企業の経営の参考にしていただくため、「環境に関する実態・意識調査」を本年度も1,252企業を対象として、平成13年2月1日現在で実施しました。

回収数は610企業(回収率48.7%)のうち有効回答数は605企業(有効回答率48.3%)であった。

「環境」への配慮・重視によるメリット

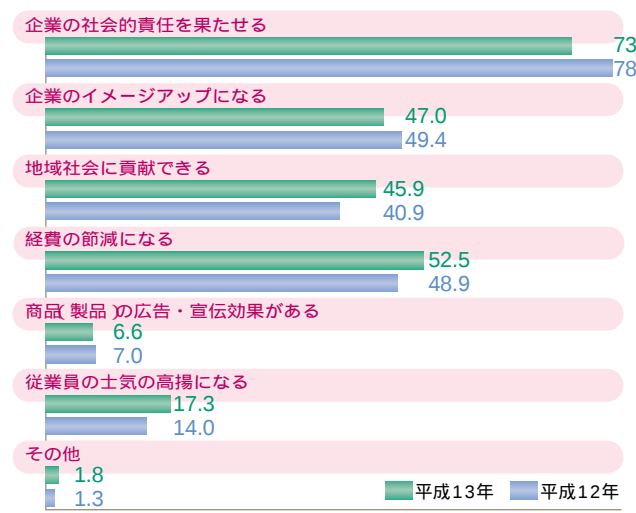
回答企業数598(単位:%)

環境に関して配慮・重視することにより生じるメリットの有無の回答です。「大きなメリットがある」7.7%、「メリットがある」58.2%、「メリットはない」18.4%となり、「メリットがある」と答えた企業は全体で65.9%となっている。



具体的なメリット

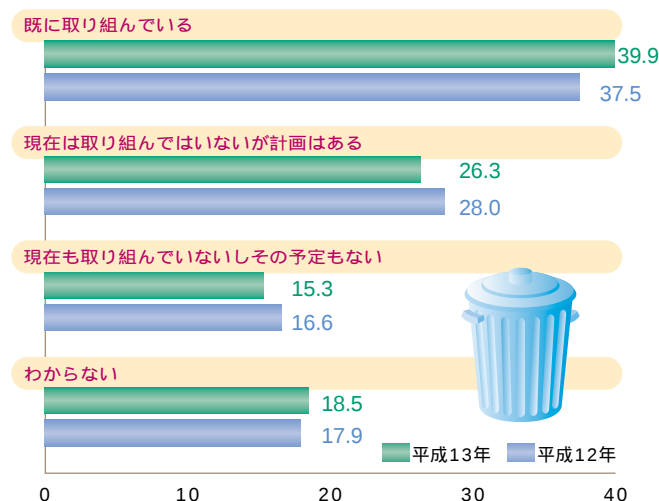
複数回答、回答企業数394(単位:%)



「企業の社会的責任を果たせる」が73.1%と最も高く、以下、「経費の節減になる」52.5%、「企業のイメージアップになる」47.0%、「地域社会に貢献できる」45.9%、「従業員の士気高揚になる」17.3%、「商品の広告・宣伝効果がある」6.6%となっており、前年比では、「地域社会に貢献できる」5.0ポイント増加、「経費の節減になる」3.6ポイント増加、「従業員の士気の高揚になる」3.3ポイント増加となっている。

産業廃棄物の減量化、再資源化への取り組み状況

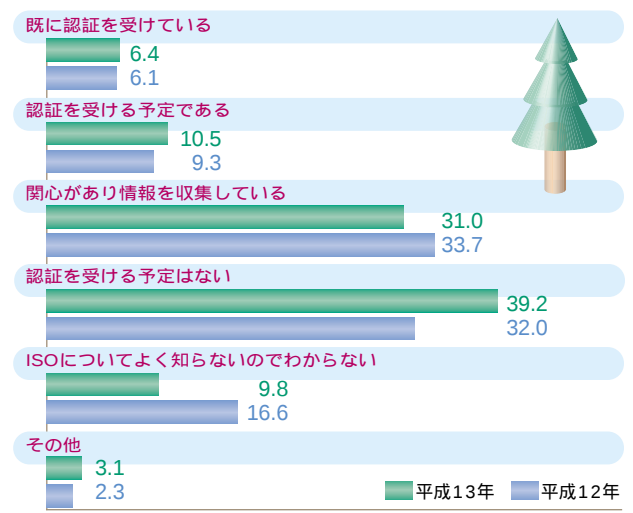
回答企業数589(単位:%)



「既に取り組んでいる」が39.9%と最も高く、以下、「現在は取り組んでいないが計画はある」26.3%、「わからない」18.5%、「現在も取り組んでいないし、その予定もない」15.3%となっており、前年比では、「既に取り組んでいる」2.4ポイント増加、「現在は取り組んでいないが計画はある」1.7ポイント減少となっている。

国際規格ISO14000sの認証取得状況

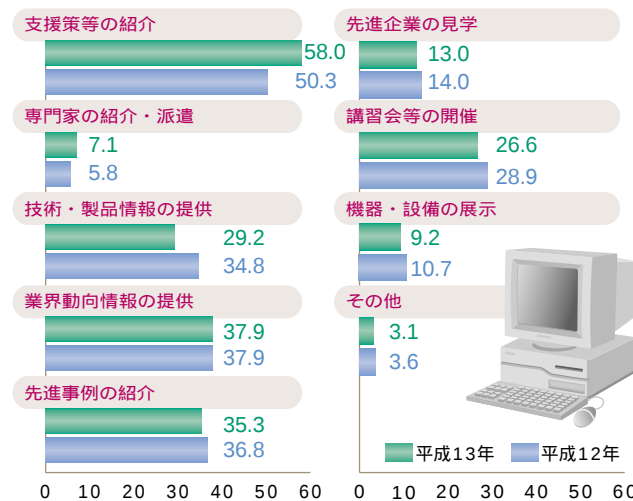
回答企業数581(単位:%)



最も高いのは、「認証を受ける予定はない」の39.2%で、以下、「関心があり情報を収集している」31.0%、「認証を受ける予定である」10.5%、「ISOについてよく知らないのわからない」9.8%、「既に認証を受けている」6.4%となっており、前年比では、「認証を受ける予定である」1.2ポイント増加、「関心があり情報を収集している」2.7ポイント減少となっている。

「環境」に関して国、県等に希望するもの

複数回答、回答企業数552(単位:%)



「支援策等の紹介」の58.0%が最も高く、以下、「業界動向情報の提供」37.9%、「先進事例の紹介」35.3%、「技術・製品情報の提供」29.2%、「講習会等の開催」26.6%、「先進企業の見学」13.0%、「機器・設備の展示」9.2%となっており、前年比では、「支援策などの紹介」7.7ポイント増加、「専門家の紹介・派遣」1.3ポイント増加となっている。

詳細データはセンターHPにあるのでご覧下さい。
URL <http://www.joho-iwate.or.jp/>